

第24回 一関地区広域行政組合
一般廃棄物処理施設整備検討委員会
次 第

日時 令和3年12月27日（月）
午後3時～

場所 一関市役所3階 特別会議室

1 開 会

2 協 議

- (1) 余熱活用について
- (2) ごみ処理に関する基本的な考え方について
- (3) その他

3 そ の 他

4 閉 会

余熱活用について

1 提案の概要と取組の方向性（案）

	防災機能	農業利用	健康増進	工場誘致
提案の概要	<ul style="list-style-type: none"> 避難スペースの確保 災害時に風呂、シャワーを開放 組立式風呂の設置スペースを確保 	<ul style="list-style-type: none"> 実証ハウスの整備 温水ハウスの整備 新規農業者のトレーニングハウスの整備 	<ul style="list-style-type: none"> プール、スポーツジム、スタジオなどの整備 温浴設備の整備 子供の遊び場の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 紙おむつ再生工場の誘致
取組の方向性	可能な限り、施設本体に防災機能を取り入れる。	条件を示して事業希望者の有無を調査する。	条件を示して事業希望者の有無を調査する。	条件を示して事業希望者の有無を調査する。
敷地の使用	○	△	○	△
余熱供給（年間）	280日	280日	280日	280日
温水供給	○無料	○無料	○無料	○無料
電力供給	○無料	○有料	○有料	○有料
施設整備	公設	民設	公設	民設
事業運営	—	民営	民営	民営
課題	—	<ul style="list-style-type: none"> 利用可能な農地の確保（<u>拡張性の観点から、敷地外が望ましい。</u>） 	<ul style="list-style-type: none"> 既存民間施設への影響 高齢者の保健事業と介護予防事業の<u>一体的実施</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 他自治体事例は<u>実証実験段階</u> 地域の理解が必要
想定事業主体	組合	一関市	一関市 (又は組合)	一関市
実施方法	二	<ul style="list-style-type: none"> 農業法人育成 公募 	<ul style="list-style-type: none"> 公募 S P C（特別目的会社）の<u>設立</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 公募
実現性	可能			

2 エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備基本計画への記載

- エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備基本計画を今年度中に策定予定。
- 現時点では余熱の活用方法が未定であることから、様々な活用方法に対応できるよう、熱利用の取出し口を設置する計画として記載。

3 住民説明会等への対応

- 2月から3月にかけて、周辺自治会説明会、住民説明会を開催する予定。
- 余熱活用案の検討状況を説明し、意見を聴取する。

ごみ処理に関する基本的な考え方を定める必要性・背景

- ・ 気候変動対策は、国連が示す持続可能な社会実現のための 17 の国際目標（SDGs）の一つとなっている。
- ・ 国は、2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指している。
- ・ 施設整備にあたっては、効率的なエネルギー回収やごみの減量化とともに、焼却量を減らし、資源化量を増やす取組みが重要となる。
- ・ 焼却量を減らすためには、現在、焼却ごみとして出されている廃棄物の中から、資源物として分別可能なものをできる限り資源化できるよう誘導する必要がある。
- ・ 焼却量を減らし、できる限り資源化を進めるため、一関市、平泉町及び組合で共通認識を図り、ごみ処理に関する基本方針を策定するもの。

【課題】

- ・ 誘導策の 1 例として、資源物は指定ごみ袋を使用せず、コンテナ回収を行うことが考えられるが、収集所のスペースや管理方法など課題がある。

ごみ処理に関する基本的な考え方（案）

近年、頻発している気象災害は、気候変動によるものと考えられており、これは私たちの経済活動によって排出される温室効果ガスの増加の影響による地球温暖化が原因であるといわれている。代表的な温室効果ガスは二酸化炭素であり、植物の光合成などによる吸収量を上回る二酸化炭素は、石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料の燃焼によって排出されることから、使用する化石燃料そのものの減量化のほか、化石燃料を原料とするプラスチック類の減量化を進める必要がある。

一方、焼却灰や不燃物の残渣を埋め立てる最終処分場は、新たな施設用地の確保に相当の期間と多額の費用を要することから、施設の長期使用が望まれるところであり、埋立てする処分量の減量化を図る必要がある。

そのためには、一層の 3R（Reduce：排出抑制、Reuse：再利用、Recycle：再生利用）の定着とごみの分別排出の普及により、ごみの減量化に取り組んでいかなければならない。

このような状況を踏まえ、ごみ処理に関する基本的な考え方を次のとおりとする。

1 ごみ処理に関する基本的な考え方

資源物に分別する量を増やし、ごみを減量化する。

ごみの排出、収集、選別、処分の各段階において、できるだけ資源物に分別し、焼却や埋立てするごみの減量化を図る。

2 ごみの減量化に係る検討方法（案）

(1) ワーキンググループによる検討

一関市、平泉町及び組合の職員によるワーキンググループを設置し、ごみの排出、

収集、選別、処分の各段階における課題を整理し、ごみ減量化の方策を検討する。

① 課題の整理、共通認識

- ・ 市町：ごみの分別や集積所の指定など
- ・ 組合：ごみの収集や処理など
- ・ 共通：各種計画の関係の整理

② ごみの減量化のための取組について検討

- ・ 指定ごみ袋を使用しない資源物の排出方法の検討
ごみの減量化を図るためには、分別して資源物として排出する利点の創設が必要である。そこで、指定ごみ袋を使用せずに資源物を排出する方法を検討する。
- ・ 分別区分の見直し
一関清掃センターと大東清掃センターの現状の分別区分を基礎とし、資源化する量を増やすための新たな分別区分を創設する。
- ・ 処分方法の区分の明確化と処分先の確保
一関市及び平泉町から発生する産業廃棄物以外のごみは、その処分方法を次のとおり区分し、処分先を確保する。
 - ア 当組合の施設で処理するもの
 - イ 当組合の施設では処理できないが、受け入れて委託により処理するもの
 - ウ 当組合の施設では受け入れず、処分先を案内するもの

(2) 検討委員会による検討

検討委員会では、ワーキンググループでの検討結果を踏まえ、ごみ処理の関する基本的な考え方をまとめ、必要に応じて社会実験実施についての検討を行うとともに、リサイクル施設整備基本計画やエネルギー回収型一般廃棄物処理施設の要求水準書に反映する。

3 判断基準

ごみの排出、収集、選別、処分の方法を定める基準を次のとおりとし、それぞれの方法は各基準を比較考量して総合的に判断する。

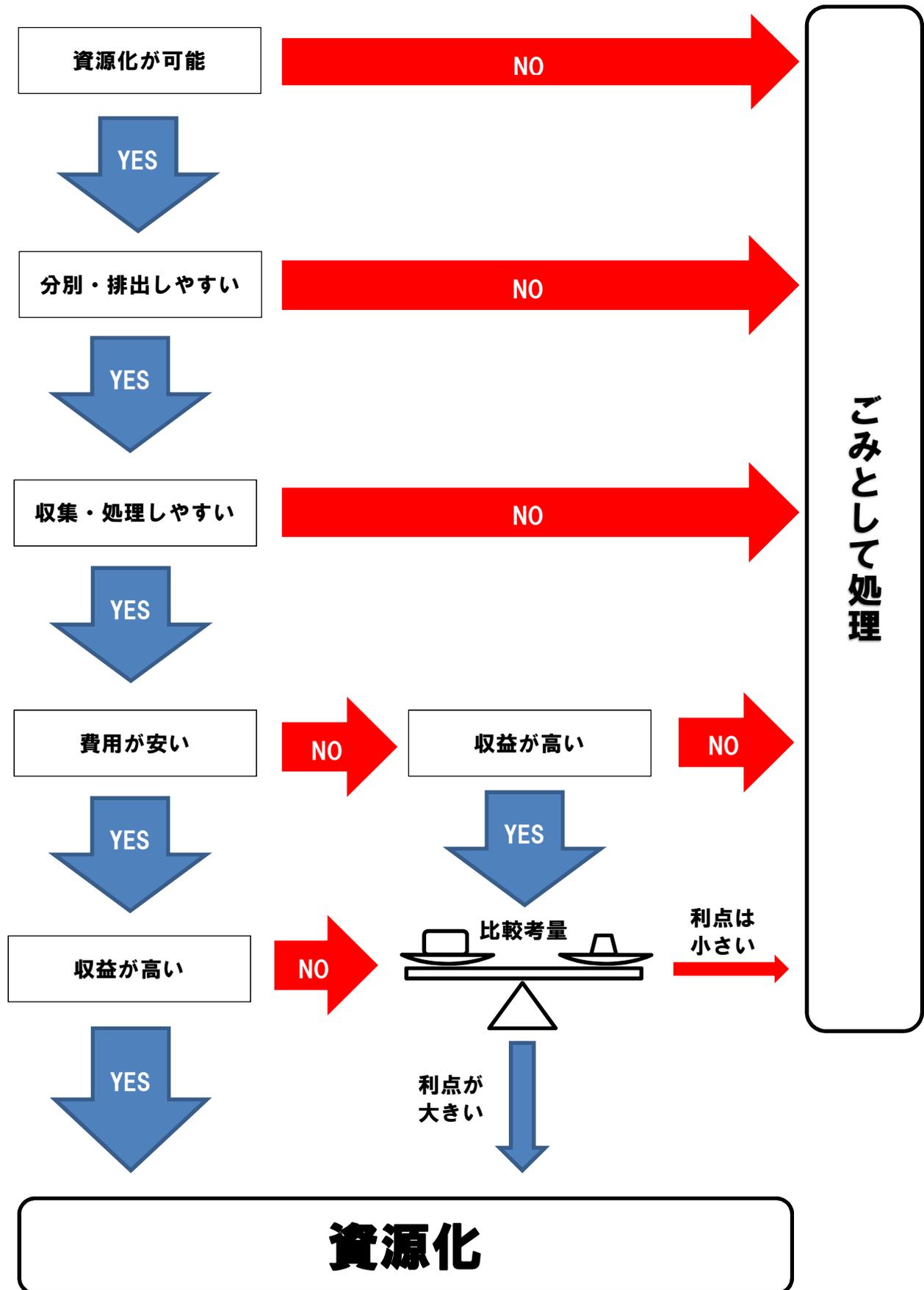
(例) 「油びん」 : 資源化は可能だが、資源物としての排出は困難だ。
→ 燃やせないごみに分別する。

- (1) 資源化が可能であること。
- (2) 分別・排出がしやすいこと。
- (3) 収集・処理がしやすいこと。
- (4) 費用が比較して安いこと。
- (5) 収益が比較して高いこと。

4 スケジュール(案)

- (1) 令和3年12月～令和4年2月 ワーキンググループ設置について検討
(検討内容、メンバーなど)
- (2) 令和4年4月～8月 ワーキンググループ会議(月1回、全4回)
- (3) 令和4年9月～10月 検討委員会でまとめ

資源化に関する判断フロー



施設見学会参加者の皆さんのアンケート結果

令和3年12月14日(火)、16日(木)に行った、施設見学会には**31人**の方にご参加いただきました。

質問1 これまでにごみ処理施設や最終処分場を見学されたことはありますか。

見学したことがある	見学したことがない	未回答
16人	15人	0人
52%	48%	0%

質問2 ごみ処理施設（大東清掃センター）での見学内容はあなたにとって有意義でしたか。

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	未回答
13人	12人	4人	0人	2人	0人
42%	39%	13%	0%	6%	0%

質問3 最終処分場（東山清掃センター）での見学内容はあなたにとって有意義でしたか。

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	未回答
12人	13人	3人	0人	2人	1人
39%	42%	10%	0%	6%	3%

質問4 今回の施設見学会に参加して、ごみ処理施設に対するイメージは変わりましたか。

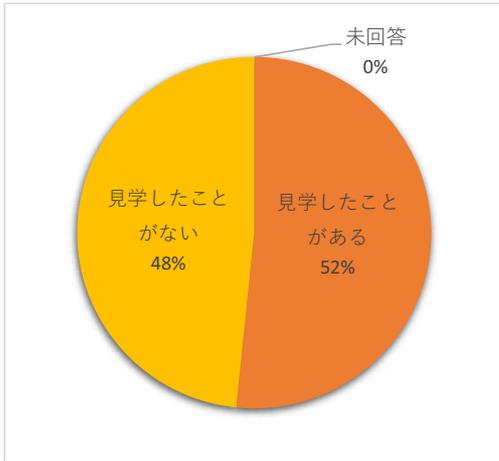
良くなった	変わらない	悪くなった	未回答
20人	11人	0人	0人
65%	35%	0%	0%

質問5 今回の施設見学会に参加して、最終処分場に対するイメージは変わりましたか。

良くなった	変わらない	悪くなった	未回答
19人	10人	2人	0人
61%	32%	7%	0%

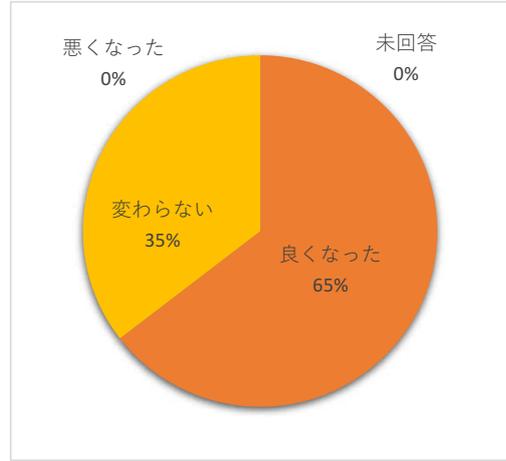
質問 1

これまでにごみ処理施設や最終処分場を見学されたことはありますか。



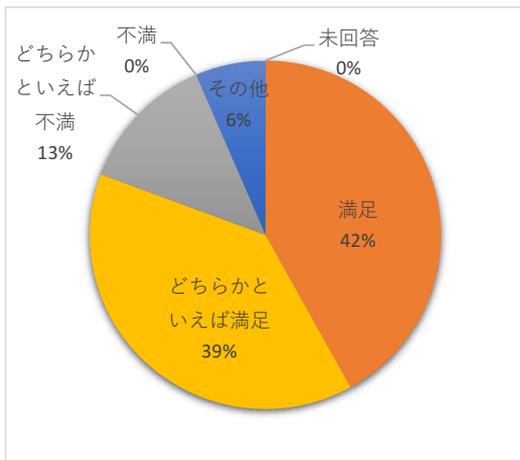
質問 4

今回の施設見学会に参加して、ごみ処理施設に対するイメージは変わりましたか。



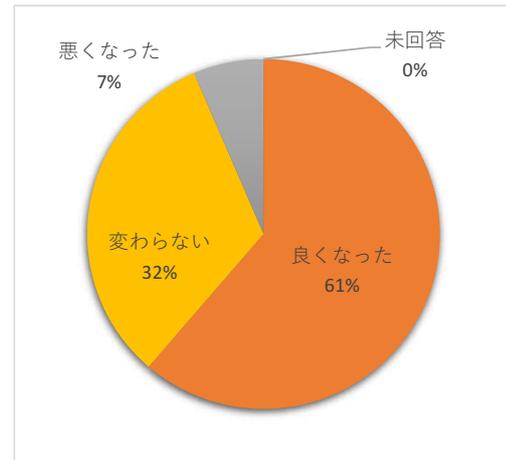
質問 2

ごみ処理施設（大東清掃センター）での見学内容はあなたにとって有意義でしたか。



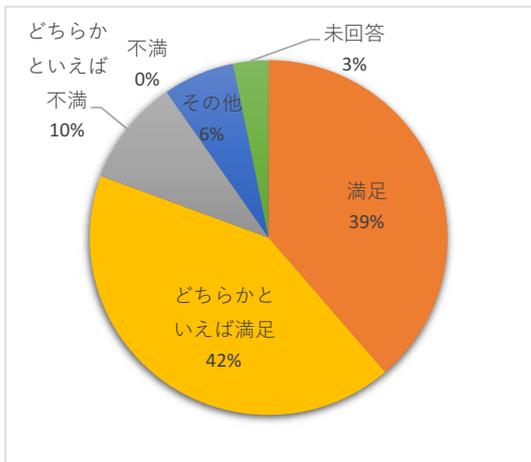
質問 5

今回の施設見学会に参加して、最終処分場に対するイメージは変わりましたか。



質問 3

最終処分場（東山清掃センター）での見学内容はあなたにとって有意義でしたか。



2021年12月7日

一関地区広域行政組合

管理者 一関市長 佐藤善仁 様

**『新最終処分場』に関する確認・意見・要望・質問書**

子ども達の未来と環境を守る会

代表 千葉 進

日頃、市民の生活環境改善に向けて精励されておられることに敬意を表します。

さて、私ども「子ども達の未来と環境を守る会」では、千厩町の「北ノ沢地区」への『新最終処分場』の選定に対し、千厩地域の住民への周知不足、さらには選定に至る過程への疑問等から、11月14日に「千厩町の未来を語り合う会」を開催し、住民の意見を集約しました。

つきましては、その内容を中心とした標記「確認・意見・要望・質問」をまとめましたので、これに対する貴組合の誠意ある回答を期待し、提出致します。

なお、回答は文書によるものとし、12月21日までをお願い致します。

I 全体的な確認事項**1. 『新最終処分場』に係る組織の確認**

- (1) 「一関地区広域行政組合」の権限はどこまで及ぶのか。
- (2) 「一関地区広域行政組合議会」はどのような時に開催され、その決定に際しては多数決なのか。また、その権限はどこまで及ぶのか。
- (3) 「一関市議会」「平泉町議会」との関係はどのように捉えればよいのか。
- (4) 最終決定の場はどこにあるのか。また、その決定権はどうなっているのか。
- (5) 「一関地区広域行政組合議会」の今後の予定はどうなっているのか。また、開催の際には傍聴できるのか。

2. 『新最終処分場』に係る経費の確認

- (1) 「廃棄物処理基本構想」が出された2017（平成29）年度から、2021（令和3）年度までの収支（予算・決算）状況はどうなっているのか。
- (2) 「一般廃棄物最終処分場整備候補地選定委員会」の委員会収支決算はどうなっているのか。
- (3) 各種「説明会」での収支決算はどうなっているのか。
- (4) 「くらしの情報」発行の収支決算はどうなっているのか。

- (5) 『新最終処分場』の「地形測量」「地質検査」は実施済みとのことだが、それに係る経費はどうなっているのか。
- (6) 2022（令和4）年度以降の予定（用地測量・基本設計・生活環境影響調査等）に係る予算はどうなっているのか。

II 質問事項

1. 「周知の徹底」について

- (1) 一般市民（町民）への周知を今後どうするのか。
- ・「初めて知った」という意見。
 - ・「説明会」が1回（6月27日）だけ。
- (2) 「くらしの情報」の編集・配布方法を再考できないか。
- ・分かりにくい。
 - ・見たことがない。
 - ・難しくて読む気にならない。
- (3) 「説明会」の偏重を改めることができないか。
- ・周辺自治会・周辺土地所有者への説明会はあるが、「町民」への説明不足。
 - ・建前だけの説明会とも考えてしまう。
- (4) 自治会単位主催での「説明会」を開催できないか。
- ・該当する自治会という組織・住民に対しての説明不足。
 - ・発言しやすい環境が欲しい。

2. 「学習環境」「生活環境」について

- (1) 「都市計画区域」に隣接する場所を選定した理由は何か。
- (2) 今後、この「都市計画区域」への新たな居住者を期待しているが、この施設ができたとして、それが期待できるのか。また、その際の責任はどうなるのか。
- (3) 「2020年国勢調査結果」を見ても、千厩地域はこの5年間で、1,514人の人口減（減少率12.99%で地域別で最高）、世帯数は347世帯の減（減少率8.50%で地域別で最高）となっており、今後の千厩地域の発展を考えた時、どうしても北ノ沢地区でなければならぬ施設なのか。千厩町がより一層衰退しないか不安である。
- (4) 基本的に人家のある市街地に作る物ではないと考えるが、その認識はあるのか。

- ・完璧な物はなく、不安だ。今の気象条件・災害等を考えると絶対はありえない。
 - ・行政が大丈夫と言っても絶対受け入れられない。
 - ・臭いがひどいと聞くが不安だ。
- (5) 処理水は3自治会だけの問題ではなく、また、北ノ沢だけの問題でもなく、町の問題として考えるべきと思うが、どう捉えているのか。
- ・水はどこに行くのか。
 - ・千厩川は鮭が帰ってくる川だが、汚染水は大丈夫か。
 - ・その川で、子ども達が水遊びできるのか。
- (6) すぐ近くに千厩高校があり、該当箇所が高校のグラウンドや農場に近く、地下水・臭い等が心配されえるが、どのように考えているのか。
- (7) この北ノ沢地区に若い人たちが新居を構え始めているが、子ども達は小・中・高校へと通う中、通学路の危険性が指摘されているが、どう考えているのか。

3. 「工事」「施設」について

- (1) 周辺地の人たちが「公園ができる」「道路が広くなる」と言っているが、本当のことか。
- (2) 工事が始まったとして、万一、事故や災害があった時の対応をどのように考えているのか。
- (3) 将来的に、施設での事故や環境汚染等があった場合の対応・責任をどのように考えているのか。

Ⅲ 意見・要望事項

1. 若者たちの意見・要望

- ア 説明会に行きたくても、仕事の関係等で時間・曜日があわない。
- イ この事を初めて聞くことができた。説明会は、集まりやすい曜日・時間帯で、参加しやすく多くの方々が参加できるようにして欲しい。土曜日でも仕事がある人もいる。
- ウ この事を知らないで家を建てたが、その不満をどこに言えばいいのか！
- エ 意見を言いたくても周りの人たちの目に見えない圧力を感じてしまう。
- オ 高校生が先生に聞いても、先生も説明できる状況にない。また、高校生たちも知りたくてもその機会がない。
- カ 学校でも説明会ができないか。

2. 市民（町民）の意見・要望

- ア 若い方々が住んでいて、子育てをしている人も多い。この問題で将来を見据えていくのが難しくなっている。精神的にも身体的にも苦痛を感じている。なぜ「安全」「水も大丈夫」と言いながら、他地区では健康診断を受けているのか。
- イ 一番危惧しているのは、千厩高校の野球・ソフトボールグラウンドが近いこと。保護者も聞いていなかったし、放置できない問題だ。不安で練習させることもできないし、学園祭で売っている農作物も心配だ。
- ウ 地元の声がきちんと聞こえる状況に行政がすべき。
- エ 地元の住民を無視している観がある。地元の人たちのことを考えてほしい。
- オ 住民の不安を解消していく方法を考えて欲しい。
- カ ビニールシートは1.5mmと言うが、下で漏れがあったら修理できない。また、センサーを入れるというが、何が起きるか分からない。地下水への影響もわからないでは、不安ばかりだ。
- キ 町に近いのが理解できない。民家のない山の方を考えるべきで、県内の他の処分場は民家のない所が多い。
- ク 千厩町全体のイメージダウンになる。また、思い描いていた未来とは異なる生活環境となってしまう。
- ケ ゴミにふさわし場所・人が住むためにふさわしい場所を考えるべき。町が衰退してしまう。
- コ 子どもたちが、いい環境でのびのびと育つ町・千厩にしたい。
- サ 搬送コストを考えれば、新焼却施設が近い別の場所がベターではないか。